



# フィリピンの子供たちをとおして親子の絆を見直そう



親孝行してますか？と聞かれて、後ろめたい日本人は多いような気がします。フィリピンの子供たちは、とても親孝行です。“親と子の絆”は国籍に関係なく、人間が生きるための大切な基本でしょう。それを、改めて見直すことで日本の若者の未来は大きく違ってくると思います。

私たちは今後ますます世界の人々と共同で新しい価値を生み出すことが求められてくるでしょう。そのためにも、日本に住む若者は生きるための共通の基盤をしっかりとっておく必要があると思います。国際協力NGOオイスカのフィリピン人スタッフが、フィリピンの暮らしをとおして“親子の絆”の大切さをご紹介します。皆様のご参加をお待ちしております。



2012 6.2 (土)  
15時～17時

さいたま市  
国際交流センター  
浦和駅東口  
コムナーレ9F  
浦和パルコ上



講師：マリア グラゼン・アセリット  
2005年フィリピン大学卒業  
フィリピンでの国際協力活動を通して  
現在、(公財)オイスカ国際協力部勤務

お申込み・お問合せ  
㈱さいたま観光国際協会 国際交流センター ぷらっとサロン  
浦和駅東口 コムナーレ9階 (パルコ上)  
電話/FAX 048-887-1506 Email: iec@stib.jp

【ミニ講座申込用紙】※お電話・メールでのお申込みも承っております。 申込期限：6月1日(金)

氏名		電話番号 (携帯優先)	
住所	〒	その他	